

**Pioneer**

DJミキサー

# DJM-750

<http://pioneeardj.com/support/>

上記のPioneerDJサポートサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

**取扱説明書**

---

---

# もくじ

## 本書の見かた

本書では、製品本体に表示されているチャンネル名、ボタン名、およびソフトウェア上のメニュー名などを、[ ] で囲んで記載しています。

(例：[MASTER] チャンネル、[ON/OFF]、[File] メニュー)

## 01 はじめに

本機の特長 ..... 3

## 02 接続する

本体背面部 ..... 4

入力端子に接続する ..... 5

出力端子に接続する ..... 5

操作パネルに接続する ..... 6

ドライバソフトウェアおよび

設定ユーティリティソフトウェアについて ..... 6

## 03 操作する

基本操作 ..... 12

応用操作 ..... 14

## 04 エフェクトの種類

BOOST COLOR FX/SOUND COLOR FX の種類 ..... 16

BEAT EFFECT の種類 ..... 16

## 05 MIDI メッセージ一覧

## 06 設定を変更する

オートスタンバイ機能について ..... 21

トークオーバー機能について ..... 21

設定項目一覧 ..... 21

## 07 その他

故障かな?と思ったら ..... 22

ブロックダイヤグラム ..... 24

商標および登録商標について ..... 25

# はじめに

## 本機の特長

本機は、クラブサウンドの世界標準であるパイオニア DJM シリーズの技術を継承した 4 チャンネル DJ ミキサーです。USB サウンドカード、BOOST COLOR FX、SOUND COLOR FX、および BEAT EFFECT など、DJ パフォーマンスのための多彩な機能を備えるだけでなく、高音質・高信頼性設計および操作性の高いパネルレイアウトを採用することにより、すべての DJ のパフォーマンスを強力にサポートします。

## 24 bit/96 kHz STEREO 4IN 4OUT SOUND CARD

本機は、24 bit/96 kHz ステレオ 4IN 4OUT 対応の USB サウンドカードを搭載しています。

ASIO/Core Audio 規格に対応していますので、DJ ソフトウェアを使った DJ パフォーマンスだけでなく、楽曲製作など多様なソフトウェアの用途にお使いいただけます。

- 1 台のコンピュータから最大 4 系統のステレオ音声を各チャンネルに入力してミックスできます。
- 各チャンネル (チャンネル 1 ~ 4、REC OUT、クロスフェーダー A 側 / B 側、マイク) から最大 4 系統のステレオ音声をコンピュータに出力できます。
- サンプルレートの切り換えは 96 kHz、48 kHz、および 44.1 kHz に切り換えられます。

## BOOST COLOR FX/SOUND COLOR FX

DJM シリーズで好評な SOUND COLOR FX を継承し進化させました。4 種類の SOUND COLOR FX に [BOOST] ボタンを組み合わせることで、新たな楽曲展開を簡単に作り出すことができます。また、BOOST COLOR FX ではノブの回転速度を感知してエフェクトに変化を加えることができるため、従来以上にダイナミックなパフォーマンスを可能にします。

## BEAT EFFECT

DJM シリーズで好評な BEAT EFFECT を継承し 13 種類のエフェクトを搭載しています。また、BOOST COLOR FX/SOUND COLOR FX と組み合わせることで約 100 通りのエフェクトを作り出すことができ、多彩な音の演出ができます。

## HIGH SOUND QUALITY

デジタル/アナログの入力/出力において音質の改善と向上を図っています。96 kHz サンプルレートの採用により、高音質 A/D コンバーター、D/A コンバーターによる音声処理により、原音を忠実に再現しパワフルで高品位なクラブサウンドを表現します。

## BUILD QUALITY

フェーダーノブにロック機構を備えた「P-LOCK Fader Cap」を採用しています。

## STANDARD LAYOUT

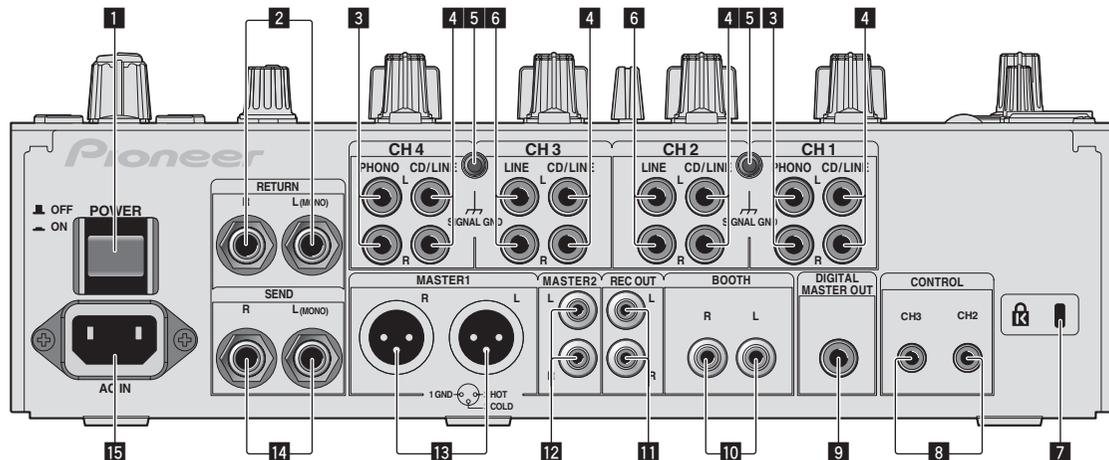
DJ ミキサーの世界標準であるパイオニア DJM シリーズの操作パネルレイアウトを継承しています。

シンプルでわかりやすい操作パネルレイアウトは、DJ パフォーマンスのしやすさだけでなく、初めて使う DJ にも迷わずお使いいただけます。

# 接続する

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。  
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。  
電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。  
必ず付属の電源コードをお使いください。

## 本体背面部



### 1 POWER ボタン (12ページ)

本機の電源をオン/オフします。

### 2 RETURN 端子 (5ページ)

外部エフェクターの出力端子と接続します。[L (MONO)] だけに接続すると、[L (MONO)] に入力される音声が [R] にも入力されます。

### 3 PHONO 端子 (5ページ)

フォノレベル (MM カートリッジ用) の出力機器と接続します。ラインレベルの信号を入力しないでください。  
[PHONO] 端子に機器を接続するときは、端子に差し込まれているショートピンプラグを取り外してください。  
このショートピンプラグは、[PHONO] 端子に何も接続しないととき外部ノイズをカットするために差し込んで使います。

### 4 CD/LINE 端子 (5ページ)

DJ プレーヤーやラインレベルの出力機器と接続します。

### 5 SIGNAL GND 端子 (5ページ)

アナログプレーヤーのアース線と接続します。アナログプレーヤー接続時の雑音低減を図ります。

### 6 LINE 端子 (5ページ)

カセットデッキやラインレベルの出力機器と接続します。

### 7 ケンジントンロック装着用穴

### 8 CONTROL 端子 (5ページ)

φ 3.5 mm ミニフォーンジャックタイプの DJ プレーヤーコントロール端子です。  
パイオニア製 DJ プレーヤーとコントロールコード (DJ プレーヤー付属品) を使って接続すると、DJ プレーヤーの再生を始めるなどの操作を、本機のフェーダーで制御できます。

### 9 DIGITAL MASTER OUT 端子 (5ページ)

マスターチャンネルの音声を出力します。

### 10 BOOTH 端子 (5ページ)

ブースモニター用出力端子です。

### 11 REC OUT 端子 (5ページ)

録音用出力端子です。

### 12 MASTER2 端子 (5ページ)

パワーアンプなどを接続します。

### 13 MASTER1 端子 (5ページ)

パワーアンプなどを接続します。

必ずバランス出力としてお使いください。他製品の電源コードを誤って挿入しないようご注意ください。

### 14 SEND 端子 (5ページ)

外部エフェクターの入力端子と接続します。[L (MONO)] だけに接続すると、モノラル音声を出力します。

### 15 AC IN

付属の電源コードを使ってコンセントと接続します。電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。  
必ず付属の電源コードをお使いください。

### ⚠ 注意

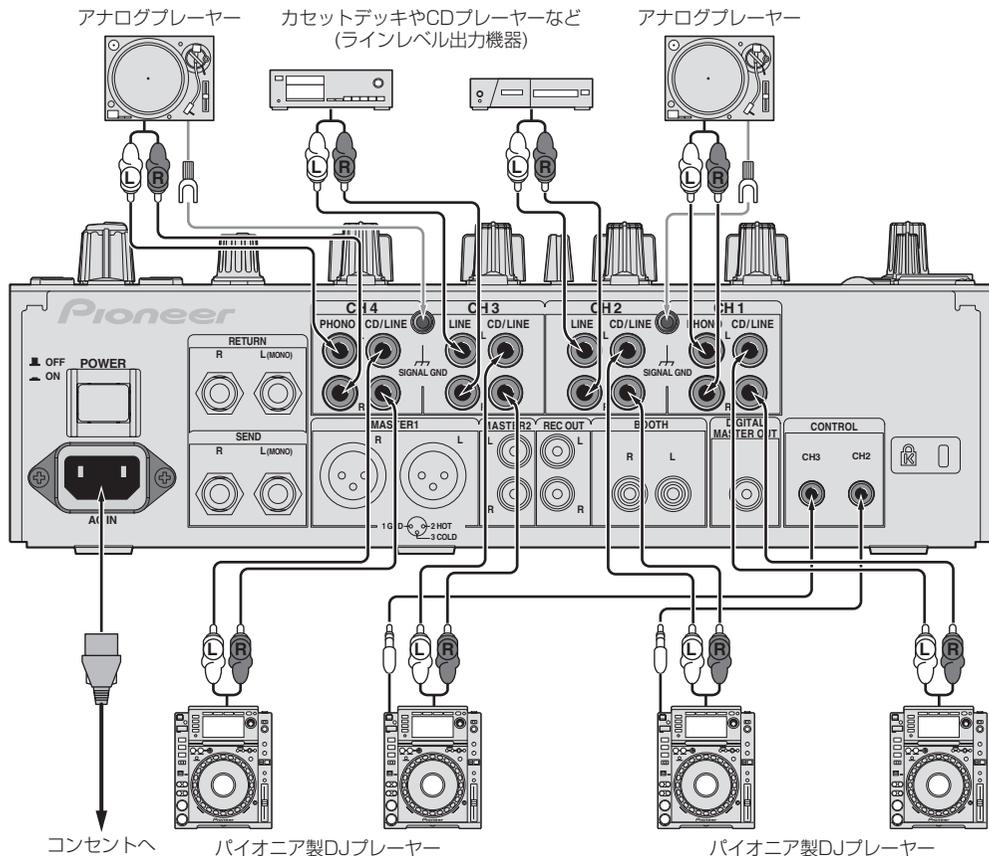
製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらず見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

### 警告

ショートピンプラグは幼児の手の届くところに置かないでください。  
万一飲み込んだ場合はただちに医師と相談してください。

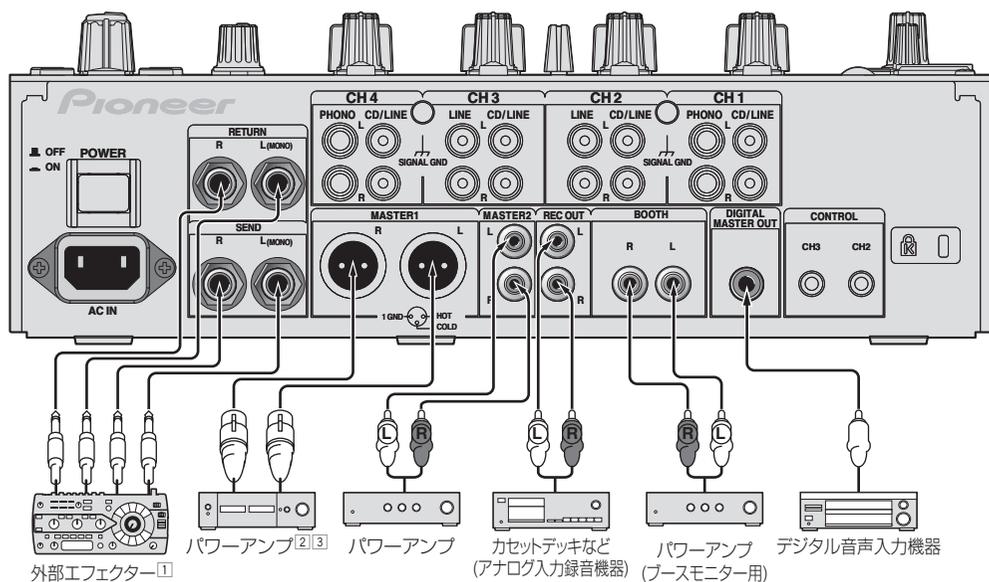
## 入力端子に接続する

- コンピュータやオーディオインターフェースなどと組み合わせて DVS(Digital Vinyl System) を構築するときは、オーディオインターフェースと本機の入力端子の接続および入力切換スイッチの設定にご注意ください。  
DJソフトウェアおよびオーディオインターフェースの取扱説明書もあわせてご覧ください。



- フェーダースタート機能を使うときは、コントロールコードを接続します(12ページ)。

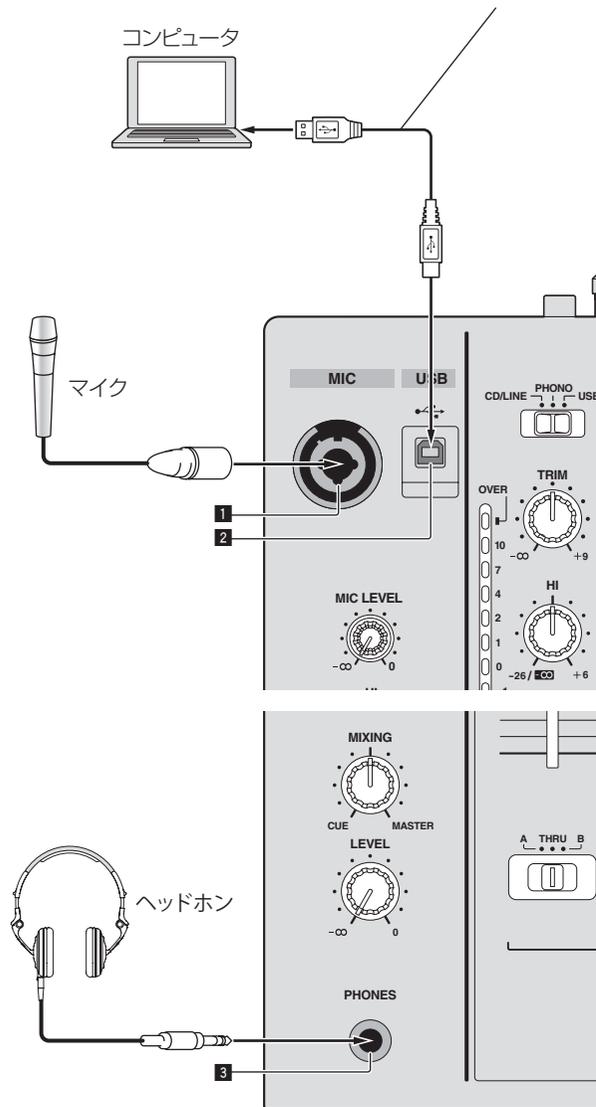
## 出力端子に接続する



- 外部エフェクターは [RETURN] 端子 (入力端子) にも接続してください。
- [MASTER1] 端子は必ずバランス出力としてお使いください。XLR-RCA 変換ケーブル (変換アダプター) などを使って、アンバランス入力 (RCA 等) へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生する場合があります。  
アンバランス入力 (RCA 等) への接続には [MASTER2] 端子をお使いください。
- [MASTER1] 端子に他製品の電源コードを誤って挿入しないようにご注意ください。

## 操作パネルに接続する

必ず付属のUSBケーブルを使って接続してください。



- 1 MIC 端子 (13ページ)**  
マイクを接続します。
- 2 USB 端子 (7ページ)**  
コンピュータを接続します。
- 3 PHONES 端子 (12ページ)**  
ヘッドホンを接続します。

## ドライバソフトウェアおよび設定ユーティリティソフトウェアについて

ドライバソフトウェアは本機に内蔵されたUSBサウンドカードを用いてコンピュータの音声を入力/出力したいときに必要となります。Windows または Mac OS がインストールされたコンピュータと弊社が提供する専用のドライバソフトウェアを準備してください。ドライバソフトウェアをインストールすると、設定ユーティリティソフトウェアも同時にインストールされます。お客様の環境に合わせて設定ユーティリティの設定とコンピュータ側の設定を変更してください。

## ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書 (以下「本契約」といいます) は、お客様とパイオニア株式会社 (以下「当社」といいます) との間における、DJ 機器用ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます) の使用に関する事項を定めるものです。

本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

### (使用許諾)

本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル・コンピュータにインストールして使用することができます。

### (制限事項)

お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等を行うことはできず、さらに、逆コンパイル、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

### (著作権等)

本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

### (保証及び技術サポートの否認)

本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

### (責任制限)

当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害 (利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません) に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

### (準拠法)

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意 (それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません) に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

## インストールについてのご注意

- ドライバソフトウェアをインストールする前に、本機の電源をオフにして本機とコンピュータを接続している USB ケーブルを取り外してください。
- ドライバソフトウェアをコンピュータにインストールしないで本機をコンピュータに接続すると、お客様の環境によってはコンピュータにエラーが発生することがあります。
- ドライバソフトウェアのインストールを途中で中止したときは、以下の手順に沿ってはじめてからインストールをやり直してください。
- 本機の専用ドライバソフトウェアをインストールする前に、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- ドライバソフトウェアをインストールする前に、コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。
- ドライバソフトウェアは以下の OS に対応しています。

対応 OS	
Mac OS X 10.6 / 10.7 / 10.8	○
Windows® 8/Windows® 8 Pro	32ビット版 ○
	64ビット版 ○
Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate	32ビット版 ○
	64ビット版 ○
Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate	32ビット版 ○
	64ビット版 ○
Windows® XP Home Edition/Professional (SP3以降)	32ビット版 ○

- Windows® XP Professional x64 Edition には対応していません。
- 付属の CD-ROM には、以下の 12 言語のインストールプログラムが収録されています。  
英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、オランダ語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、日本語  
その他の言語の OS でお使いになるときは、画面の指示に従って [English (英語)] を選んでください。

## ドライバソフトウェアをインストールする

### ❖ インストール手順について (Windows)

ドライバソフトウェアをインストールする前に「インストールについてのご注意」をよくお読みください。

- ドライバソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログオンしてからインストールしてください。

#### 1 付属の CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入する

CD-ROM のフォルダが表示されます。

- CD-ROM を挿入しても CD-ROM のフォルダが表示されないときは、[スタート] メニューの [コンピュータ (またはマイコンピュータ)] から CD ドライブを開いてください。

#### 2 [DJM-750 X.XXX.exe] をダブルクリックする

ドライバのインストール画面が表示されます。

#### 3 言語選択画面が表示されたら、[日本語] を選んでから [OK] をクリックする

お客様のコンピュータの環境によっては、複数の言語から表示言語を選べます。

#### 4 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する] にチェックを入れてから [OK] をクリックする

「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[キャンセル] をクリックして、インストールを中止してください。

#### 5 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [Windows セキュリティ] 画面が表示されることがありますが、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続行してください。

- Windows XP にインストールしているとき  
インストールの途中で [ハードウェアのインストール] 画面が表示されることがありますが、[続行] をクリックしてインストールを続行してください。
- インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。
- ドライバソフトウェアのインストールが完了したら、コンピュータを再起動する必要があります。

### ❖ インストール手順について (Mac OS X)

ドライバソフトウェアをインストールする前に「インストールについてのご注意」をよくお読みください。

- ドライバソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者の「名前」と「パスワード」をあらかじめご用意ください。

#### 1 付属の CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入する

#### 2 デスクトップ上の CD アイコンをダブルクリックする

#### 3 [DJM-750\_M\_X.X.X.dmg] をダブルクリックする

[DJM-750AudioDriver] のメニュー画面が表示されます。

#### 4 [DJM-750AudioDriver.pkg] をダブルクリックする

ドライバのインストール画面が表示されます。

#### 5 画面の内容を確認して [続ける] をクリックする

#### 6 使用許諾契約画面が表示されたら、[日本語] を選んで「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、[続ける] をクリックする

お客様のコンピュータの環境によっては、複数の言語から表示言語を選べます。

#### 7 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する] をクリックする

「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[同意しない] をクリックして、インストールを中止してください。

#### 8 画面の指示に従ってインストールする

- インストールを途中で中止するときは [キャンセル] をクリックしてください。
- ドライバソフトウェアのインストールが完了したら、コンピュータを再起動する必要があります。

## 本機とコンピュータを接続する

### 1 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

- USB2.0 に対応していないコンピュータでは動作しません。
- ASIO 対応のアプリケーションを使うときは、[USB 1/2]、[USB 3/4]、[USB 5/6] および [USB 7/8] を入力として使えます。
- DirectX 対応のアプリケーションを使うときは、[USB 1/2] だけ入力として使えます。
- DJ ソフトウェアによってコンピュータの推奨動作環境が異なります。お使いの DJ ソフトウェアの推奨動作環境を必ずご確認ください。
- 他の USB オーディオデバイスと同時にコンピュータに接続すると、正常に動作および認識されないことがあります。コンピュータと本機だけを接続することをお勧めします。
- コンピュータと接続するときは、本機の USB 端子に直接接続することをお勧めします。

### 2 [POWER] ボタンを押す

本機の電源をオンにします。

- 本機をはじめてコンピュータに接続したとき、またはコンピュータの USB 端子をつなぎ変えたときに [デバイスドライバソフトウェアをインストールしています] メッセージが表示されることがあります。[デバイスを使用する準備ができました] メッセージが表示されるまでそのままお待ちください。

- Windows XP にインストールしているとき
  - インストールの途中で [ハードウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?] と表示されることがありますが、[いいえ、今回は接続しません] を選んで [次へ] をクリックしてインストールを続行してください。
  - インストールの途中で [インストール方法を選んでください] と表示されることがありますが、[ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)] を選んで [次へ] をクリックしてインストールを続行してください。
  - インストールの途中で [Windows セキュリティ] 画面が表示されることがありますが、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続行してください。

## 設定ユーティリティについて

設定ユーティリティを使って以下の内容を確認および設定できます。

- 本機の入力切換スイッチの状態を確認する
- 本機からコンピュータへの音声データ出力を設定する
- バッファサイズを調整する (Windows ASIO 使用時)
- ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

### ❖ 設定ユーティリティを表示する

#### Windows 8 のとき

[スタート] 画面 > [DJM-750 設定ユーティリティ] をクリックする

#### Windows 8 以外の Windows のとき

[スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [DJM-750] > [DJM-750 設定ユーティリティ] をクリックする

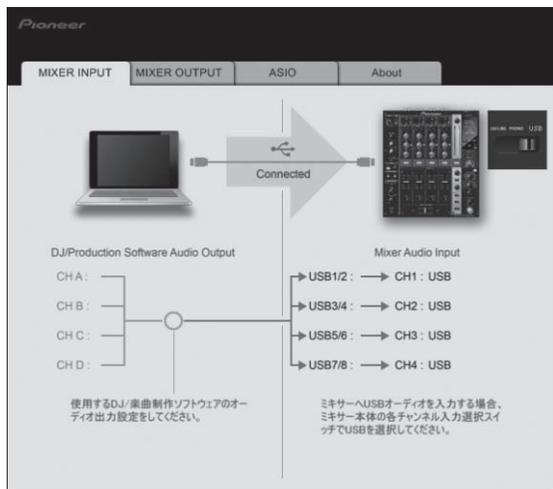
#### Mac OS X のとき

[Macintosh HD] アイコン > [Application] > [Pioneer] > [DJM-750] > [DJM-750 設定ユーティリティ] をクリックする

### ❖ 本機の入力切換スイッチの状態を確認する

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

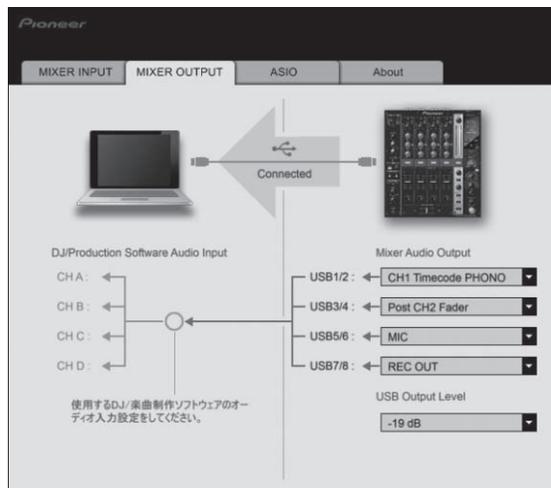
#### [MIXER INPUT] タブをクリックする



### ❖ 本機からコンピュータへの音声データ出力を設定する

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

#### 1 [MIXER OUTPUT] タブをクリックする



#### 2 [Mixer Audio Output] のプルダウンメニューをクリックする

本機内部の音声信号の流れの中から、コンピュータへ出力する音声データを選んで設定します。

CH1	CH2	CH3	CH4
CH1 Timecode PHONO <sup>[1]</sup>	CH2 Timecode CD/LINE <sup>[1]</sup>	CH3 Timecode CD/LINE <sup>[1]</sup>	CH4 Timecode PHONO <sup>[1]</sup>
CH1 Timecode CD/LINE <sup>[1]</sup>	CH2 Timecode LINE <sup>[1]</sup>	CH3 Timecode LINE <sup>[1]</sup>	CH4 Timecode CD/LINE <sup>[1]</sup>
Post CH1 Fader <sup>[2]</sup>	Post CH2 Fader <sup>[2]</sup>	Post CH3 Fader <sup>[2]</sup>	Post CH4 Fader <sup>[2]</sup>
Cross Fader A <sup>[2]</sup>			
Cross Fader B <sup>[2]</sup>			
MIC	MIC	MIC	MIC
REC OUT <sup>[2]</sup>	REC OUT <sup>[2]</sup>	REC OUT <sup>[2]</sup>	REC OUT <sup>[2]</sup>
None	None	None	None

[1] [USB Output Level] の設定に関係なく本機に入力された音量のまま出力されます。

[2] 録音用途以外で使うときは、音声のループが発生しないよう DJ ソフトウェアの設定に注意してください。音声のループが発生すると、意図していない音量の音声が入出力される可能性があります。

#### 3 [USB Output Level] のプルダウンメニューをクリックする

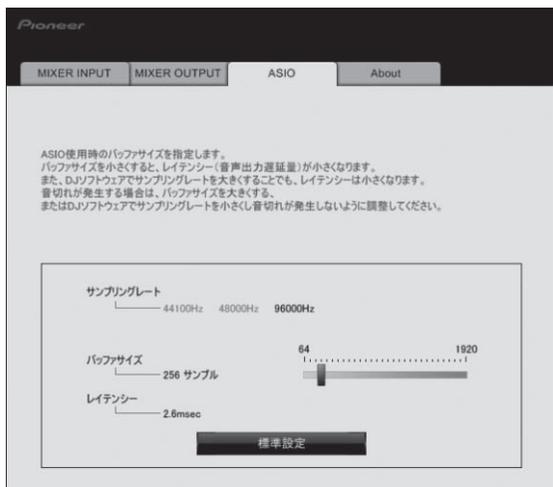
本機から出力される音声データの音量を調節します。

- [USB Output Level] の設定はすべての音声データに対して共通です。ただし、手順 2 の表の [1] を選んでいるときは本機に入力された音量のまま出力されます。
- DJ ソフトウェアの音量調節だけで十分な音量が得られないときは、[USB Output Level] を変更して本機から出力される音声データの音量を調節してください。音量を上げすぎると音声がかぶることがありますのでご注意ください。

## ❖ バッファサイズを調整する (Windows ASIO 使用時)

本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション (DJ ソフトウェアなど) が起動しているときは、そのアプリケーションを終了させてからバッファサイズを調整してください。  
あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

### [ASIO] タブをクリックする



- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。

## ❖ ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

あらかじめ設定ユーティリティを表示してください。

### [About] タブをクリックする



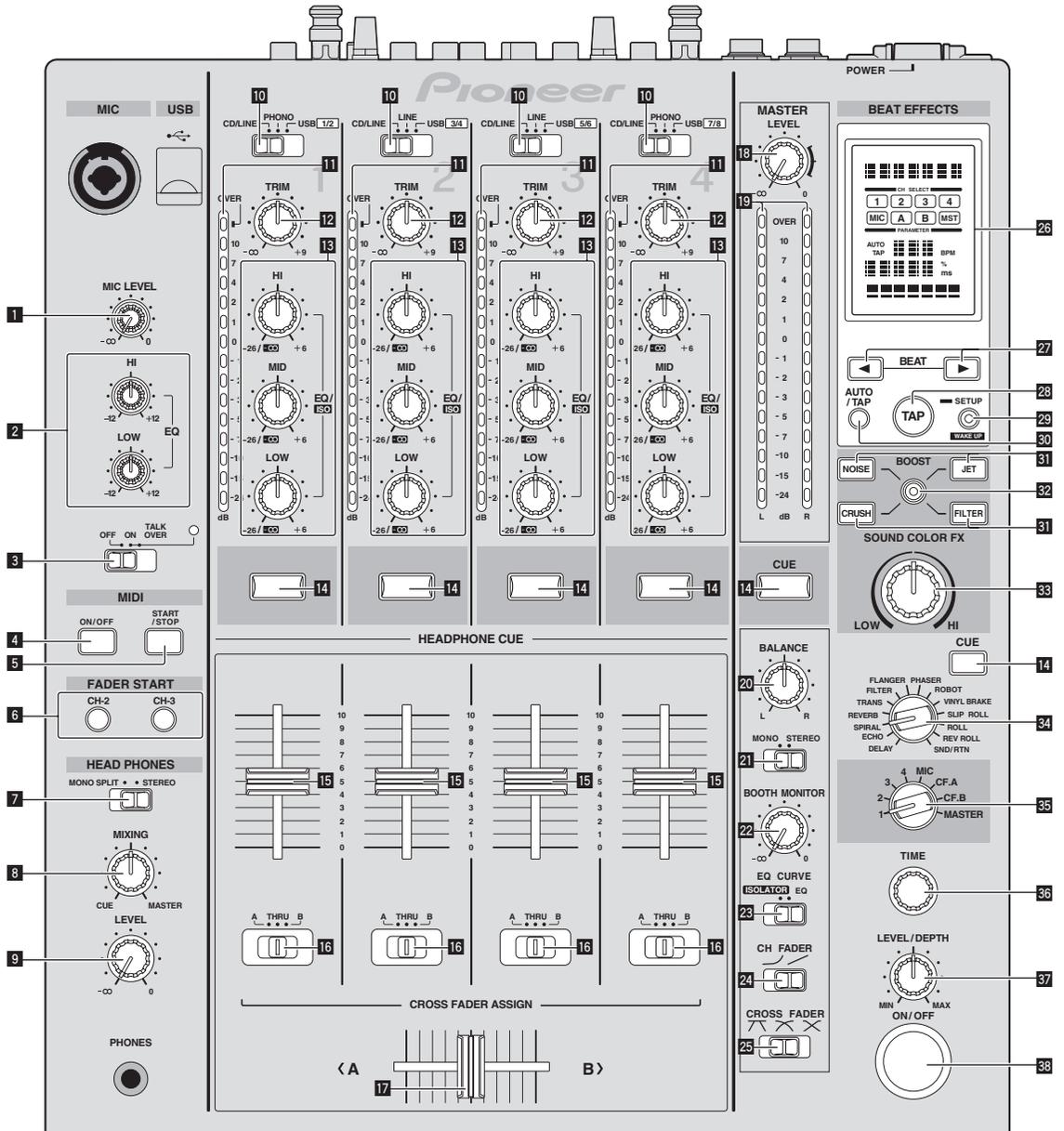
## ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアおよび OS 対応状況などの最新情報については、下記ホームページを参照してください。

<http://pioneerdj.com/support/>

- 1 台のコンピュータに本機を複数台接続したときは、動作を保証できません。

# 操作する



- 1 **MIC LEVEL ツマミ (13ページ)**  
[MIC] チャンネルから出力される音声レベルを調整します。
- 2 **EQ (HI, LOW) ツマミ (13ページ)**  
[MIC] チャンネルの音質を調整します。
- 3 **OFF, ON, TALK OVER 切換スイッチ (13ページ)**  
マイクをオン/オフします。
- 4 **ON/OFF ボタン (15ページ)**  
MIDI をオン/オフします。
- 5 **START/STOP ボタン (15ページ)**  
MIDI スタート/MIDI ストップを送信します。
- 6 **FADER START (CH-2, CH-3) ボタン (12ページ)**  
フェーダースタート機能をオン/オフします。
- 7 **MONO SPLIT, STEREO 切換スイッチ (12ページ)**  
ヘッドホンから出力されるモニター音声の振り分け方法を切り換えます。
- 8 **MIXING ツマミ (12ページ)**  
[CUE] ボタンが押してあるチャンネルの音声と [MASTER] チャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。
- 9 **LEVEL ツマミ (12ページ)**  
ヘッドホンから出力される音声レベルを調整します。
- 10 **入力切換スイッチ (12ページ)**  
本機に接続している機器の中から、各チャンネルの入力ソースを切り換えます。
- 11 **チャンネルレベルインジケータ (12ページ)**  
各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。
- 12 **TRIM ツマミ (12ページ)**  
各チャンネルに入力される音声レベルを調整します。
- 13 **EQ/ISO (HI, MID, LOW) ツマミ (12ページ)**  
各チャンネルの音質を調整します。
- 14 **CUE ボタン (12ページ)**  
モニターしたいチャンネルの [CUE] ボタンを押します。
- 15 **チャンネルフェーダー (12ページ)**  
各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。
- 16 **CROSS FADER ASSIGN (A, THRU, B) 切換スイッチ (12ページ)**  
チャンネルの出力先をクロスフェーダーの [A] 側または [B] 側に割り当てます。
- 17 **クロスフェーダー (12ページ)**  
クロスフェーダーアサインスイッチによって割り当てられた音声を、[CROSS FADER] (クロスフェーダーカーブ切換スイッチ) で選んでいるカーブ特性に従って出力します。
- 18 **MASTER LEVEL ツマミ (12ページ)**  
[MASTER1] 端子および [MASTER2] 端子から出力される音声レベルを調整します。
- 19 **マスターレベルインジケータ (12ページ)**  
[MASTER1] 端子および [MASTER2] 端子から出力される音声レベルを表示します。
- 20 **BALANCE ツマミ (13ページ)**  
[MASTER1] 端子などから出力される音声の左右のバランスを調整します。
- 21 **MONO, STEREO 切換スイッチ (13ページ)**  
[MASTER1] 端子などから出力される音声のモノラル/ステレオを切り換えます。
- 22 **BOOTH MONITOR ツマミ (13ページ)**  
[BOOTH] 端子から出力される音声レベルを調整します。
- 23 **EQ CURVE (ISOLATOR, EQ) 切換スイッチ (12ページ)**  
[EQ/ISO (HI, MID, LOW)] ツマミの機能を切り換えます。
- 24 **CH FADER (ノ, ノ) 切換スイッチ (12ページ)**  
チャンネルフェーダーのカーブ特性を切り換えます。
- 25 **CROSS FADER (六, 六, X) 切換スイッチ (12ページ)**  
クロスフェーダーのカーブ特性を切り換えます。
- 26 **本体表示部**
- 27 **BEAT ◀, ▶ ボタン (15ページ)**  
エフェクト音を同期させる拍の倍率を設定します。
- 28 **TAP (ENTER) ボタン**  
— TAP : BPM の測定モードが [TAP] のとき、ボタンを指で叩いて手動で BPM を入力します (15ページ)。  
— ENTER : 本機の設定を変更するときに使います (21ページ)。
- 29 **SETUP(WAKE UP) ボタン (21ページ)**  
— SETUP : [USER SETUP] 画面または [CLUB SETUP] 画面を表示します。  
— WAKE UP : オートスタンバイ状態を解除します。
- 30 **AUTO/TAP ボタン (14ページ)**  
BPM の測定モードを切り換えます。
- 31 **COLOR FX 選択ボタン (14ページ)**  
SOUND COLOR FX, BOOST COLOR FX のエフェクトをオン/オフします。
- 32 **BOOST ボタン (14ページ)**  
SOUND COLOR FX と BOOST COLOR FX を切り換えます。
- 33 **COLOR ツマミ (14ページ)**  
SOUND COLOR FX, BOOST COLOR FX の量的パラメーターを調整します。
- 34 **ビートエフェクト切換スイッチ (15ページ)**  
BEAT EFFECT のエフェクトの種類を切り換えます。
- 35 **エフェクトチャンネル切換スイッチ (14ページ)**  
BEAT EFFECT および SOUND COLOR FX/BOOST COLOR FX を加えるチャンネルを切り換えます。
- 36 **TIME ツマミ (15ページ)**  
BEAT EFFECT の時間的パラメーターを調節します。
- 37 **LEVEL/DEPTH ツマミ (15ページ)**  
BEAT EFFECT の量的パラメーターを調整します。
- 38 **ON/OFF ボタン (15ページ)**  
BEAT EFFECT をオン/オフします。

チャンネルフェーダーツマミおよびクロスフェーダーツマミは無理に引き抜かないでください。簡単に引き抜けない構造になっているため、ノブが壊れる可能性があります。

## 基本操作

### 音声を出力する

#### 1 [POWER] ボタンを押す

本機の電源をオンにします。

#### 2 入力切換スイッチを切り換える

本機に接続している機器の中から、各チャンネルの入力ソースを選びます。

- [PHONO]: [PHONO] 端子に接続しているアナログプレーヤーを選びます。
- [CD/LINE], [LINE]: [CD/LINE], [LINE] 端子に接続している DJ プレーヤーやカセットデッキを選びます。
- [USB \*/\*]: [USB] 端子に接続しているコンピュータの音声を選びます。

#### 3 [TRIM] ツマミを回す

各チャンネルに入力される音声レベルを調整します。

各チャンネルに音声が入力されているときは、チャンネルレベルインジケーターが点灯します。

#### 4 チャンネルフェーダーを奥側に動かす

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

#### 5 [CROSS FADER ASSIGN (A, THRU, B)] 切換スイッチを切り換える

各チャンネルの出力先を切り換えます。

- [A]: クロスフェーダーの [A] (左) 側に割り当てます。
- [B]: クロスフェーダーの [B] (右) 側に割り当てます。
- [THRU]: クロスフェーダーを使わないときに選びます (クロスフェーダーは通過しません)。

#### 6 クロスフェーダーを動かす

[CROSS FADER ASSIGN (A, THRU, B)] 切換スイッチを [THRU] に設定しているときは、この操作は必要ありません。

#### 7 [MASTER LEVEL] ツマミを回す

[MASTER1] 端子および [MASTER2] 端子から音声が出力されます。マスターレベルインジケーターが点灯します。

### 音質を調整する

#### 各チャンネルの [EQ/ISO (HI, MID, LOW)] ツマミを回す

各ツマミで調整できる音域は以下のとおりです。

- HI: -26 dB ~ +6 dB (13 kHz)
- MID: -26 dB ~ +6 dB (1 kHz)
- LOW: -26 dB ~ +6 dB (70 Hz)

#### ❖ [EQ/ISO (HI, MID, LOW)] ツマミの機能を切り換える

#### [EQ CURVE (ISOLATOR, EQ)] 切換スイッチを切り換える

- [ISOLATOR]: アイソレーターとして機能します。
- [EQ]: イコライザーとして機能します。

### ヘッドホンで音声をモニターする

#### 1 [PHONES] 端子にヘッドホンを接続する

#### 2 モニターしたいチャンネルの [CUE] ボタンを押す

#### 3 [MONO SPLIT, STEREO] 切換スイッチを切り換える

- [MONO SPLIT]: ヘッドホン出力の左チャンネルから [CUE] ボタンが押してあるチャンネルの音声、右チャンネルから [MASTER] チャンネルの音声が出力されます。
- [STEREO]: [CUE] ボタンが押してあるチャンネルの音声ヘッドホンからステレオ音声で出力されます。

#### 4 [MIXING] ツマミを回す

[CUE] ボタンが押してあるチャンネルの音声と [MASTER] チャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

#### 5 [HEADPHONES] の [LEVEL] ツマミを回す

[CUE] ボタンが押してあるチャンネルの音声がヘッドホンから出力されます。

- [CUE] ボタンをふたたび押すと、モニターが解除されます。

### フェーダーカーブを切り換える

#### ❖ チャンネルフェーダーのカーブ特性を選ぶ

#### [CH FADER ( , )] 切換スイッチを切り換える

- [  ]: 奥側で急峻に立ち上がるカーブになります。
- [  ]: 徐々に立ち上がるカーブになります (チャンネルフェーダーが手前側から離れると音声が徐々に大きくなります)。

#### ❖ クロスフェーダーのカーブ特性を選ぶ

#### [CROSS FADER ( , , )] 切換スイッチを切り換える

- [  ]: 急峻に立ち上がるカーブになります (クロスフェーダーが [A] 側の端から離れると、すぐに [B] 側の音声が出力されます)。
- [  ]: 上下 2 つの中間のカーブになります。
- [  ]: 徐々に立ち上がるカーブになります (クロスフェーダーが [A] 側の端から離れると、[B] 側の音声が徐々に大きくなり、[A] 側の音声が徐々に小さくなります)。

### フェーダーを使って DJ プレーヤーの再生を始める (フェーダースタート)

パイオニア製 DJ プレーヤーとコントロールコード (DJ プレーヤー付属品) を使って接続すると、DJ プレーヤーの再生を始めるなどの操作を、本機のフェーダーで制御できます。あらかじめ本機とパイオニア製 DJ プレーヤーを接続してください。接続の仕方については、5 ページの「入力端子に接続する」をご覧ください。

#### ❖ チャンネルフェーダーを使って再生を始める

#### 1 [CROSS FADER ASSIGN (A, THRU, B)] 切換スイッチを [THRU] に設定する

#### 2 [FADER START (CH-2, CH-3)] ボタンのいずれかを押す フェーダースタートさせたいチャンネルを選びます。

#### 3 チャンネルフェーダーを一番手前の位置に設定する

#### 4 DJ プレーヤーでキューを設定する

DJ プレーヤーがキューポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

#### 5 チャンネルフェーダーを奥側に動かす

DJ プレーヤーの再生が始まります。

- チャンネルフェーダーの位置を元に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります (バックキュー)。

## ❖ クロスフェーダーを使って再生を始める

1 [CROSS FADER ASSIGN (A, THRU, B)] 切替スイッチを [A] または [B] に設定する

2 [FADER START (CH-2, CH-3)] ボタンのいずれかを押す  
フェーダースタートさせたいチャンネルを選びます。

3 クロスフェーダーを動かす

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

4 DJ プレーヤーでキューを設定する

DJ プレーヤーがキューポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

5 クロスフェーダーを動かす

DJ プレーヤーの再生が始まります。

- クロスフェーダーの位置を元に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります (バックキュー)。

## マイクを使う

1 [MIC] 端子にマイクを接続する

2 [OFF, ON, TALK OVER] 切替スイッチを [ON] または [TALK OVER] に設定する

- [ON] : インジケーターが点灯します。
- [TALK OVER] : インジケーターが点滅します。

- [TALK OVER] に設定すると、マイクに -10 dB 以上の音声が入力されたとき [MIC] チャンネル以外の音声は 18 dB (初期設定値) 減衰します。

- [TALK OVER] の音声減衰レベルは [USER SETUP] 画面で変更できます。変更方法については、21ページの「設定を変更する」をご覧ください。

- トークオーバーモードは、ノーマルモードとアドバンスドモードに切り換えられます。変更方法については、21ページの「設定を変更する」をご覧ください。

3 [MIC LEVEL] ツマミを回す

[MIC] チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

- 右に回しすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

4 マイクに音声を入力する

## ❖ 音質を調整する

[MIC] チャンネルの [EQ (HI, LOW)] ツマミを回す

各ツマミで調整できる音域は以下のとおりです。

- HI : -12 dB ~ +12 dB (10 kHz)
- LOW : -12 dB ~ +12 dB (100 Hz)

## モノラル音声 / ステレオ音声を切り換える

[MASTER1] 端子、[MASTER2] 端子、[BOOTH] 端子、[REC OUT] 端子、[PHONES] 端子、[DIGITAL MASTER OUT] 端子、および [USB] 端子から出力される音声のモノラル音声 / ステレオ音声を切り換えられます。

- [USB] 端子から出力される音声进行调整するときは、設定ユーティリティの [Mixer Audio Output] で [REC OUT] を選んでください。

[MONO, STEREO] 切替スイッチを切り換える

- [MONO] : モノラル音声が出力されます。
- [STEREO] : ステレオ音声が出力されます。

## ❖ 音声の左右バランスを調整する

[MASTER1] 端子、[MASTER2] 端子、[BOOTH] 端子、[REC OUT] 端子、[PHONES] 端子、[DIGITAL MASTER OUT] 端子、および [USB] 端子から出力される音声の左右のバランスを調整できます。

- [USB] 端子から出力される音声进行调整するときは、設定ユーティリティの [Mixer Audio Output] で [REC OUT] を選んでください。

1 [MONO, STEREO] 切替スイッチを [STEREO] に設定する

2 [BALANCE] ツマミを回す

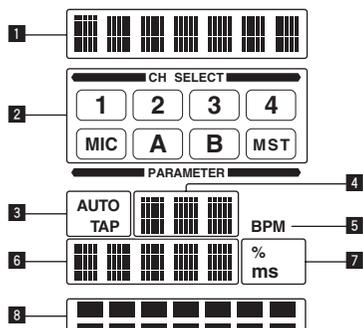
[BALANCE] ツマミを回す方向と位置によって音声の左右のバランスが変化します。

- 右に回しきるとステレオ音声の右側音声だけ出力されます。左に回しきるとステレオ音声の左側音声だけ出力されます。

## [BOOTH] 端子から音声を出力する

[BOOTH MONITOR] ツマミを回す

[BOOTH] 端子から出力される音声レベルを調整します。



番号	名前	説明	SOUND COLOR FX	BOOST COLOR FX	B E A T EFFECT
1	エフェクト表示部	選んでいるエフェクト名が表示されます。	×	×	○
2	チャンネルセレクト表示部	エフェクトを加えるチャンネル名が表示されます。	○	○	○
3	AUTO (TAP)	BPM 測定モードがオートモードのとき [AUTO] が点灯します。手動入力モードのとき [TAP] が点灯します。	×	○	○
4	BPM 値表示 (3 桁)	オートモードのときは自動で検出した BPM 値を表示します。検出できないときは前回検出した BPM 値で点滅します。手動入力モードのときは手動で入力した BPM 値を表示します。	×	○	○
5	BPM	常時点灯します。	×	○	○
6	パラメーター表示部	エフェクトごとに指定されたパラメーターを表示します。[BEAT ◀▶] ボタンを押したとき、対応する拍の倍率を 1 秒間表示します。[BEAT ◀▶] ボタンでパラメーター範囲外が指定されたとき、数値は変化せずに点滅します。	×	×	○
7	% (ms)	エフェクトごとの単位に合わせて点灯します。	×	×	○
8	ビート表示部	選んでいる拍数の位置に合わせて点灯します。	×	×	○

## SOUND COLOR FX

[COLOR] ツマミに連動して変化するエフェクトです。

### ❖ SOUND COLOR FX を使う

#### 1 [COLOR FX] 選択ボタンのいずれかを押す

エフェクトの種類を選びます。

押したボタンが点滅します。

- すでに [COLOR FX] 選択ボタンのいずれかが選ばれていても、新たに別の [COLOR FX] 選択ボタンを選んで押すと、新たに押したボタンが選ばれます。
- エフェクトの種類については、16ページ の「BOOST COLOR FX/SOUND COLOR FX の種類」をご覧ください。

#### 2 エフェクトチャンネル切換スイッチを回す

エフェクトを加えるチャンネルを選びます。

- [1] ~ [4] : 各チャンネルの音声にエフェクトを加えます。
- [MIC] : [MIC] チャンネルの音声にエフェクトを加えます。
- [CFA], [CFB] : クロスフェーダーの [A] (左) 側または [B] (右) 側の音声にエフェクトを加えます。
- [MASTER] : [MASTER] チャンネルの音声にエフェクトを加えます。
- [COLOR] ツマミがセンターの位置以外に回されていて音声にエフェクトが加わっている時に、エフェクトチャンネル切換スイッチを回すとエフェクトが解除されます。

#### 3 [COLOR] ツマミを回す

ツマミを回すと音声にエフェクトが加わります。

### ❖ SOUND COLOR FX を終了する

点滅している [COLOR FX] 選択ボタンを押す

エフェクトが解除されます。

## BOOST COLOR FX

[BOOST] ボタン、[COLOR] ツマミ、再生中の曲のテンポ (BPM=Beats Per Minute) に連動して変化するエフェクトです。

### ❖ BOOST COLOR FX を使う

#### 1 [AUTO/TAP] ボタンを押す

BPM の測定モードを選びます。

- [AUTO] : 入力されている音声信号から BPM を自動測定します。本機の電源をオンにしたときは、[AUTO] に設定されます。
- [TAP] : [TAP] ボタンを指で叩いて BPM を手動で入力します。
- [AUTO] の BPM 測定範囲は BPM=70 ~ 180 です。曲によっては正しく測定できないことがあります。BPM を測定できないときは表示部の BPM 値が点滅します。そのときは [TAP] ボタンを使って手動で入力してください。

#### 2 [BOOST] ボタンを押す

[BOOST] ボタンが点灯します。

#### 3 [COLOR FX] 選択ボタンのいずれかを押す

エフェクトの種類を選びます。

押したボタンが点滅します。

- すでに [COLOR FX] 選択ボタンのいずれかが選ばれていても、新たに別の [COLOR FX] 選択ボタンを選んで押すと、新たに押したボタンが選ばれます。
- エフェクトの種類については、16ページ の「BOOST COLOR FX/SOUND COLOR FX の種類」をご覧ください。

#### 4 エフェクトチャンネル切換スイッチを回す

エフェクトを加えるチャンネルを選びます。

- [1] ~ [4] : 各チャンネルの音声にエフェクトを加えます。
- [MIC] : [MIC] チャンネルの音声にエフェクトを加えます。
- [CFA], [CFB] : クロスフェーダーの [A] (左) 側または [B] (右) 側の音声にエフェクトを加えます。
- [MASTER] : [MASTER] チャンネルの音声にエフェクトを加えます。

- **[COLOR]** ツマミがセンターの位置以外に回されていて音声にエフェクトが加わっている時に、エフェクトチャンネル切換スイッチを回すとエフェクトが解除されます。

## 5 [COLOR] ツマミを回す

ツマミを回すと音声にエフェクトが加わります。

ツマミを高速に回すと、エフェクト効果に変化を加えることができます。

### ❖ BOOST COLOR FX を終了する

#### 点滅している [COLOR FX] 選択ボタンを押す

エフェクトが解除されます。

- **[BOOST]** ボタンを押して消灯させると、SOUND COLOR FX に切り換わります。

## BEAT EFFECT

再生中の曲のテンポ (BPM=Beats Per Minute) に合わせたさまざまなエフェクトを瞬時に設定できます。

### ❖ BEAT EFFECT を使う

#### 1 [AUTO/TAP] ボタンを押す

BPM の測定モードを選びます。

- **[AUTO]**: 入力されている音声信号から BPM を自動測定します。本機の電源をオンにしたときは、**[AUTO]** に設定されます。
- **[TAP]**: **[TAP]** ボタンを指で叩いて BPM を手動で入力します。
- **[AUTO]** の BPM 測定範囲は BPM=70 ~ 180 です。曲によっては正しく測定できないことがあります。BPM を測定できないときは表示部の BPM 値が点滅します。そのときは **[TAP]** ボタンを使って手動で入力してください。

#### 2 ビートエフェクト切換スイッチを回す

エフェクトの種類を選びます。

- エフェクトの種類については、16ページの「BEAT EFFECT の種類」をご覧ください。
- **[SND/RTN]** を使うときは、以下の「外部エフェクターを使う」をご覧ください。

#### 3 エフェクトチャンネル切換スイッチを回す

エフェクトを加えるチャンネルを選びます。

- **[1] ~ [4]**: 各チャンネルの音声にエフェクトを加えます。
- **[MIC]**: **[MIC]** チャンネルの音声にエフェクトを加えます。
- **[CF.A]**, **[CF.B]**: クロスフェーダーの **[A]** (左) 側または **[B]** (右) 側の音声にエフェクトを加えます。
- **[MASTER]**: **[MASTER]** チャンネルの音声にエフェクトを加えます。

#### 4 [BEAT ◀, ▶] ボタンを押す

エフェクト音を同期させる拍の倍率を設定します。

拍の倍率に対応したエフェクトタイムが自動で設定されます。

#### 5 [BEAT EFFECTS] の [ON/OFF] ボタンを押す

音声にエフェクトが加わります。

**[TIME]** ツマミを回すと、エフェクトの時間的パラメーターを調節できます。

**[LEVEL/DEPTH]** ツマミを回すと、エフェクトの量的パラメーターを調節できます。

エフェクトをオンにしているとき **[ON/OFF]** ボタンが点滅します。

- **[ON/OFF]** ボタンをふたたび押すと、エフェクトがオフになります。

### ❖ BPM を手動で入力する

再生中の音声の拍 (4分音符) に合わせて **[TAP]** ボタンを2回以上指で叩く

**[TAP]** ボタンを指で叩いた間隔の平均値が BPM に設定されます。

- **[TAP]** ボタンを使って BPM を設定すると拍の倍率は **[1/1]** に設定され、1拍 (4分音符) の時間がエフェクトタイムに設定されます。
- **[TAP]** ボタンを押しながら **[TIME]** ツマミを回すと BPM を手動で設定できます。

- **[TAP]** ボタンを押しながら **[AUTO/TAP]** ボタンを押し、2つのボタンを押しながら **[TIME]** ツマミを回すと BPM を 0.1 単位で設定できます。

### ❖ 外部エフェクターを使う

#### 1 本機と外部エフェクターを接続する

接続の仕方については、5ページの「出力端子に接続する」をご覧ください。

#### 2 ビートエフェクト切換スイッチを回す

**[SND/RTN]** を選びます。

#### 3 エフェクトチャンネル切換スイッチを回す

エフェクトを加えるチャンネルを選びます。

#### 4 [BEAT EFFECTS] の [ON/OFF] ボタンを押す

外部エフェクターを通過した音声は **[MASTER]** チャンネルから出力されます。

- **[ON/OFF]** ボタンをふたたび押すと、エフェクトがオフになります。

## MIDI を使って DJ ソフトウェアを操作する

本機のほぼすべてのツマミやボタンの操作情報を、MIDI 信号で DJ ソフトウェアに送信できる「フルアサイナブル MIDI」機能を搭載しています。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピュータと USB ケーブルで接続すると、本機を USB MIDI コントローラーとしてお使いいただけます。さらに再生中の音声のテンポ (BPM) を MIDI タイミングクロックして送信しますので、DJ ソフトウェア上のテンポを本機の出力音声のテンポで同期させることができます。本機で DJ ソフトウェアを操作するときは、あらかじめコンピュータに MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしてください。また、DJ ソフトウェア側の MIDI に関する設定が必要です。

- 本機が出力するメッセージについては、19ページの「MIDI メッセージ一覧」をご覧ください。
- 本機の MIDI チャンネルを変えたいときは、21ページの「設定を変更する」をご覧ください。

#### 1 本機の [USB] 端子とコンピュータを接続する

接続方法については、6ページの「操作パネルに接続する」をご覧ください。

#### 2 DJ ソフトウェアを起動する

#### 3 [MIDI] の [ON/OFF] ボタンを押す

MIDI をオンにします。

MIDI メッセージの送信を始めます。

- フェーダーやツマミを動かすと、その位置に応じたメッセージを送信します。
- **[START/STOP]** ボタンを2秒以上続けて押すと、ボタン、フェーダーまたはツマミの位置に応じた MIDI メッセージを一括で送信します (スナップショット)。
- **[MIDI]** の **[ON/OFF]** ボタンをふたたび押すと、MIDI メッセージの送信を止めます。
- MIDI タイミングクロック (BPM 情報) は **[MIDI]** の **[ON/OFF]** ボタンに関係なく送信されます。

### ❖ MIDI スタート / MIDI ストップを送信する

#### [MIDI] の [START/STOP] ボタンを押す

- MIDI スタート / MIDI ストップのメッセージは、MIDI のオン / オフにかかわらず **[START/STOP]** ボタンを押すたび交互に送信されます。

# エフェクトの種類

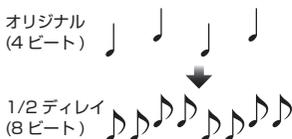
## BOOST COLOR FX/SOUND COLOR FX の種類

エフェクト名	[BOOST] ボタンの状態	説明	[COLOR] ツマミ
NOISE	オフ	本機内部で発生させたホワイトノイズをフィルターに通してからチャンネルの音声とミックスして出力します。 • 各チャンネルの [TRIM] ツマミを回して音量を調節できます。また、[EQ/ISO (HI, MID, LOW)] ツマミを回して音質を調整できます。	左回し：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。 右回し：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。
	オン	ホワイトノイズに対してエコーがかかります。ノブを回す速度によって、エコーの周期が変わります。	BPM の 1 拍の時間に対して 3/4 の周期のエコーがかかります。 早回し時は 1/4 の周期のエコーがかかります。
JET	オフ	フランジャー効果を与えます。	左回し：低音の強いフランジャー効果を加えます。 右回し：高音の強いフランジャー効果を加えます。
	オン	テープエコーのような残響効果を与えます。	左回し：残響効果を加えます。ツマミを回すほどにディレイタイムが長くなります。 右回し：残響効果を加えます。ツマミを回すほどにディレイタイムが短くなります。 ツマミの位置に応じてディレイタイムが変化します。 早回し時はディレイタイムの変化速度が速くなります。
CRUSH	オフ	元の音声を壊したような音に変化させて出力します。	左回し：音声の歪みが増します。 右回し：音声を壊してからハイパスフィルターを通過させます。
	オン	[CRUSH] のエフェクト音に対してエコーがかかります。ノブを回す速度によって、エコーの周期が変わります。	BPM の 1 拍の時間に対して 3/4 の周期のエコーがかかります。 早回し時は 1/4 の周期のエコーがかかります。
FILTER	オフ	フィルターを通した音声を出力します。	左回し：ローパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。 右回し：ハイパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。
	オン	[FILTER] のエフェクト音に対してエコーがかかります。ノブを回す速度によって、エコーの周期が変わります。	BPM の 1 拍の時間に対して 3/4 の周期のエコーがかかります。 早回し時は 1/4 の周期のエコーがかかります。

## BEAT EFFECT の種類

### DELAY <sup>①</sup>

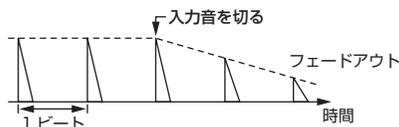
[BEAT ◀ ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせてディレイ音を 1 回出力します。  
1/2 ビートのディレイ音を重ねると 4 ビートが 8 ビートになります。



BEAT ◀ ▶ ボタン (パラメーター 1)	BPM の 1 拍の時間に対して 1/8 ~ 16/1 のディレイタイムを設定します。
TIME ツマミ (パラメーター 2)	ディレイタイムを設定します。 1 ~ 4000 (ms)
LEVEL/DEPTH ツマミ (パラメーター 3)	原音とディレイ音のバランスを設定します。

### ECHO <sup>① ②</sup>

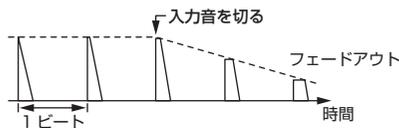
[BEAT ◀ ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。  
1/1 ビートのエコー音では入力音を切ったあとも曲のテンポに合わせてディレイ音がフェードアウトします。



BEAT ◀ ▶ ボタン (パラメーター 1)	BPM の 1 拍の時間に対して 1/8 ~ 16/1 のディレイタイムを設定します。
TIME ツマミ (パラメーター 2)	ディレイタイムを設定します。 1 ~ 4000 (ms)
LEVEL/DEPTH ツマミ (パラメーター 3)	原音とエコー音のバランスを設定します。

### SPIRAL <sup>① ②</sup>

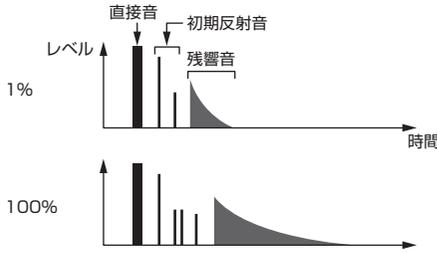
入力音に残響効果を加えます。  
ディレイタイムを変化させたとき、同時に音程も変化します。



BEAT ◀ ▶ ボタン (パラメーター 1)	BPM の 1 拍の時間に対して 1/8 ~ 16/1 のディレイタイムを設定します。
TIME ツマミ (パラメーター 2)	ディレイタイムを設定します。 10 ~ 4000 (ms)
LEVEL/DEPTH ツマミ (パラメーター 3)	原音とエフェクト音のバランスと量的パラメーターを設定します。

## REVERB ① ②

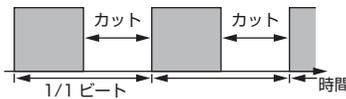
入力音に残響効果を加えます。



<b>BEAT</b> ◀ ▶ ボタン (パラメーター 1)	残響効果の程度を <b>1 ~ 100 %</b> の間で設定します。
<b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)	残響効果の程度を設定します。 <b>1 ~ 100 (%)</b>
<b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ (パラメーター 3)	原音とエフェクト音のバランスとエフェクト音を通すフィルターのカットオフ周波数を設定します。

## TRANS ①

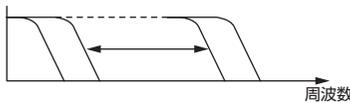
[BEAT ◀, ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせて音をカットします。



<b>BEAT</b> ◀, ▶ ボタン (パラメーター 1)	BPM の 1 拍の時間に対して <b>1/16 ~ 16/1</b> のカット時間を設定します。
<b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)	エフェクト時間を設定します。 <b>10 ~ 16000 (ms)</b>
<b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ (パラメーター 3)	原音とエフェクト音のバランスを設定します。

## FILTER ①

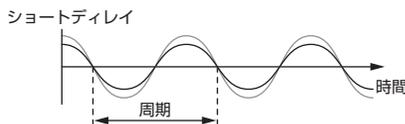
[BEAT ◀, ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせてフィルターのカットオフ周波数が変化します。



<b>BEAT</b> ◀, ▶ ボタン (パラメーター 1)	カットオフ周波数を移動させる周期を BPM の 1 拍の時間に対して <b>1/4 ~ 64/1</b> の時間で設定します。
<b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)	カットオフ周波数が移動する周期を設定します。 <b>10 ~ 32000 (ms)</b>
<b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ (パラメーター 3)	右に回すほど効果が強調されます。 左に回しきると原音だけ出力されます。

## FLANGER ①

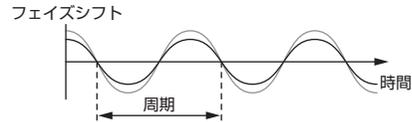
[BEAT ◀, ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせて 1 周期のフランジャー効果を作り出します。



<b>BEAT</b> ◀, ▶ ボタン (パラメーター 1)	BPM の 1 拍の時間に対して <b>1/4 ~ 64/1</b> のエフェクト時間を設定します。
<b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)	フランジャー効果が移動する周期を設定します。 <b>10 ~ 32000 (ms)</b>
<b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ (パラメーター 3)	右に回すほど効果が強調されます。 左に回しきると原音だけ出力されます。

## PHASER ①

[BEAT ◀, ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせてフェイザー効果が変化します。



<b>BEAT</b> ◀, ▶ ボタン (パラメーター 1)	フェイザー効果を移動させる周期を BPM の 1 拍の時間に対して <b>1/4 ~ 64/1</b> の時間で設定します。
<b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)	フェイザー効果が移動する周期を設定します。 <b>10 ~ 32000 (ms)</b>
<b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ (パラメーター 3)	右に回すほど効果が強調されます。 左に回しきると原音だけ出力されます。

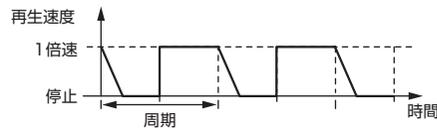
## ROBOT ①

原音をロボットが発しているような音に変化させます。

<b>BEAT</b> ◀, ▶ ボタン (パラメーター 1)	エフェクト音の程度を <b>-100 ~ 100 %</b> の間で設定します。
<b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)	エフェクト音の程度を設定します。 <b>-100 ~ 100 (%)</b>
<b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ (パラメーター 3)	原音とエフェクト音のバランスを設定します。

## VINYL BRAKE ① ②

[BEAT ◀, ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせて入力音の再生速度が変化します。



<b>BEAT</b> ◀, ▶ ボタン (パラメーター 1)	入力音の再生速度が変化する周期を BPM の 1 拍の時間に対して <b>1/4 ~ 64/1</b> で設定します。
<b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)	入力音の再生速度が変化する周期を設定します。 <b>10 ~ 32000 (ms)</b>
<b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ (パラメーター 3)	原音とエフェクト音のバランスと、再生速度の変化量を設定します。

## SLIP ROLL ① ②

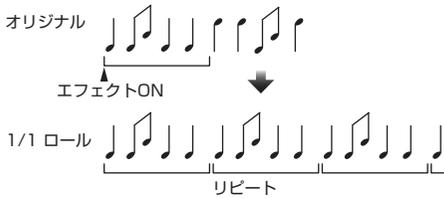
[ON/OFF] ボタンを押した時点の入力音を記録し、記録した音を [BEAT ◀, ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせて繰り返し出力します。エフェクト時間が変わると入力音を再び記録します。



<b>BEAT</b> ◀, ▶ ボタン (パラメーター 1)	BPM の 1 拍の時間に対して <b>1/16 ~ 16/1</b> のエフェクト時間を設定します。
<b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)	エフェクト時間を設定します。 <b>10 ~ 4000 (ms)</b>
<b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ (パラメーター 3)	原音と <b>ROLL</b> 音のバランスと、再生する <b>ROLL</b> 音の長さを設定します。

## ROLL <sup>1</sup> <sup>2</sup>

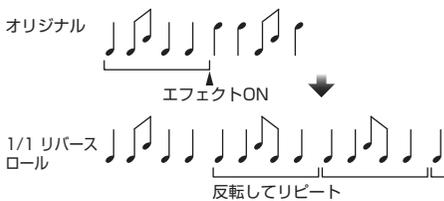
[ON/OFF] ボタンを押した時点の入力音を記録し、記録した音を [BEAT ◀ ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせて繰り返し出力します。



<b>BEAT</b> ◀ ▶ ボタン (パラメーター 1)	BPM の 1 拍の時間に対して <b>1/16</b> ~ <b>16/1</b> のエフェクト時間を設定します。
<b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)	エフェクト時間を設定します。 <b>10</b> ~ <b>4000</b> (ms)
<b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ (パラメーター 3)	原音と <b>ROLL</b> 音のバランスと、再生する <b>ROLL</b> 音の長さを設定します。

## REV ROLL <sup>1</sup> <sup>2</sup>

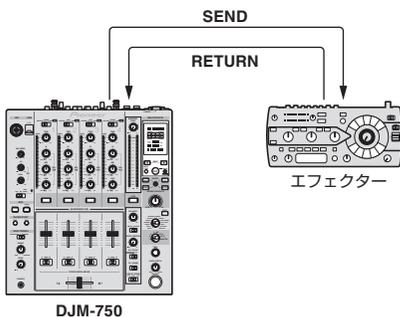
[ON/OFF] ボタンを押した時点の入力音を記録し、記録した音を反転させて [BEAT ◀ ▶] ボタンで設定した拍の倍率に合わせて繰り返し出力します。



<b>BEAT</b> ◀ ▶ ボタン (パラメーター 1)	BPM の 1 拍の時間に対して <b>1/16</b> ~ <b>16/1</b> のエフェクト時間を設定します。
<b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)	エフェクト時間を設定します。 <b>10</b> ~ <b>4000</b> (ms)
<b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ (パラメーター 3)	原音と <b>ROLL</b> 音のバランスと、再生する <b>ROLL</b> 音の長さを設定します。

## SND/RTN <sup>1</sup>

お持ちの外部エフェクターなどを接続します。



<b>BEAT</b> ◀ ▶ ボタン (パラメーター 1)	—
<b>TIME</b> ツマミ (パラメーター 2)	—
<b>LEVEL/DEPTH</b> ツマミ (パラメーター 3)	[RETURN] 端子に入力される音声レベルを調整します。

- 1 エフェクトチャンネル切換スイッチで [CF.A]、[CF.B] または [MASTER] を選んでいるとき、モニターしたいチャンネルの音声は [MASTER] チャンネルに出力されていない場合は [BEAT EFFECTS] の [CUE] ボタンを押してもエフェクト音はモニターできません。
- 2 エフェクトをオフにしているとき、[BEAT EFFECTS] の [CUE] ボタンを押してもエフェクト音はモニターできません。

# MIDI メッセージ一覧

- CC は、コントロールチェンジの省略形です。コントロールチェンジは、音質や音量などさまざまな制御情報を伝えるために使われる MIDI 信号の一種です。  
本機では、主にツマミやフェーダーを操作したときに 0 から 127 の値を CC として出力します。一部のボタンを操作したときも CC を出力します。
- Note は、ピアノやキーボードなどの鍵盤を押し放したりするとき用いる MIDI 用語です。

カテゴリー	SW 名	SW の種類	MIDI アサイン	トリガー / トグル	送受信データ
CH1	TRIM	ツマミ	CC 001	—	0 ~ 127
	HI	ツマミ	CC 002	—	0 ~ 127
	MID	ツマミ	CC 003	—	0 ~ 127
	LOW	ツマミ	CC 004	—	0 ~ 127
	CUE	ボタン	CC 070	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	チャンネルフェーダー	ツマミ	CC 017	—	0 ~ 127
	CROSS FADER ASSIGN	スイッチ	CC 065	—	0, 64, 127
CH2	TRIM	ツマミ	CC 006	—	0 ~ 127
	HI	ツマミ	CC 007	—	0 ~ 127
	MID	ツマミ	CC 008	—	0 ~ 127
	LOW	ツマミ	CC 009	—	0 ~ 127
	CUE	ボタン	CC 071	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	チャンネルフェーダー	ツマミ	CC 018	—	0 ~ 127
	CROSS FADER ASSIGN	スイッチ	CC 066	—	0, 64, 127
CH3	TRIM	ツマミ	CC 012	—	0 ~ 127
	HI	ツマミ	CC 014	—	0 ~ 127
	MID	ツマミ	CC 015	—	0 ~ 127
	LOW	ツマミ	CC 021	—	0 ~ 127
	CUE	ボタン	CC 072	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	チャンネルフェーダー	ツマミ	CC 019	—	0 ~ 127
	CROSS FADER ASSIGN	スイッチ	CC 067	—	0, 64, 127
CH4	TRIM	ツマミ	CC 080	—	0 ~ 127
	HI	ツマミ	CC 081	—	0 ~ 127
	MID	ツマミ	CC 092	—	0 ~ 127
	LOW	ツマミ	CC 082	—	0 ~ 127
	CUE	ボタン	CC 073	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	チャンネルフェーダー	ツマミ	CC 020	—	0 ~ 127
	CROSS FADER ASSIGN	スイッチ	CC 068	—	0, 64, 127
クロスフェーダー	クロスフェーダー	ツマミ	CC 011	—	0 ~ 127
フェーダーカーブ	CH FADER (  )	スイッチ	CC 094	—	0, 127
	CROSS FADER (  )	スイッチ	CC 095	—	0, 64, 127
マスター	MASTER LEVEL	ツマミ	CC 024	—	0 ~ 127
	BALANCE	ツマミ	CC 023	—	0 ~ 127
	CUE	ボタン	CC 074	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	EQ CURVE (ISOLATOR, EQ)	スイッチ	CC 033	—	0, 127
BOOTH MONITOR	BOOTH MONITOR	ツマミ	CC 025	—	0 ~ 127
BEAT EFFECTS	◀	ボタン	CC 076	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	▶	ボタン	CC 077	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	AUTO/TAP	ボタン	CC 069	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127
	TAP	ボタン	CC 078	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	CUE	ボタン	CC 075	トリガー / トグル	OFF=0, ON=127

カテゴリー	SW 名		SW の種類	MIDI アサイン	トリガー/トグル	送受信データ
BEAT EFFECTS	EFFECT SELECT	DELAY	スイッチ	CC 042	②	OFF=0, ON=127
		ECHO	スイッチ	CC 055	②	OFF=0, ON=127
		SPIRAL	スイッチ	CC 043	②	OFF=0, ON=127
		REVERB	スイッチ	CC 054	②	OFF=0, ON=127
		TRANS	スイッチ	CC 053	②	OFF=0, ON=127
		FILTER	スイッチ	CC 059	②	OFF=0, ON=127
		FLANGER	スイッチ	CC 050	②	OFF=0, ON=127
		PHASER	スイッチ	CC 057	②	OFF=0, ON=127
		ROBOT	スイッチ	CC 051	②	OFF=0, ON=127
		VINYL BRAKE	スイッチ	CC 061	②	OFF=0, ON=127
		SLIP ROLL	スイッチ	CC 058	②	OFF=0, ON=127
		ROLL	スイッチ	CC 046	②	OFF=0, ON=127
		REV ROLL	スイッチ	CC 047	②	OFF=0, ON=127
		SND/RTN	スイッチ	CC 062	②	OFF=0, ON=127
		CH1	スイッチ	CC 034	②	OFF=0, ON=127
		CH2	スイッチ	CC 035	②	OFF=0, ON=127
		CH3	スイッチ	CC 036	②	OFF=0, ON=127
		CH4	スイッチ	CC 037	②	OFF=0, ON=127
	MIC	スイッチ	CC 038	②	OFF=0, ON=127	
	C.F.A	スイッチ	CC 039	②	OFF=0, ON=127	
	C.F.B	スイッチ	CC 040	②	OFF=0, ON=127	
MASTER	スイッチ	CC 041	②	OFF=0, ON=127		
TIME		スイッチ	CC 013	–	–	
		スイッチ	CC 045	–	TIME の値 (FLANGER、PHASER、FILTER、または VINYL BRAKE を選んでいるときは半分の値になります。マイナスの値を選んでいるときはプラスの値になります。)	
	LEVEL/DEPTH	スイッチ	CC 091	–	0 ~ 127	
	ON/OFF • BEAT EFFECT で [SND/RTN] 以外のエフェクトを選んでいるとき	ボタン	CC 114	–	OFF=0, ON=127	
	ON/OFF • BEAT EFFECT で [SND/RTN] を選んでいるとき	ボタン	CC 064	–	OFF=0, ON=127	
SOUND COLOR FX (BOOST COLOR FX)	EFFECT SELECT	NOISE	ボタン	CC 085	トリガー/トグル <sup>①</sup>	OFF=0, ON=127
		JET	ボタン	CC 084	トリガー/トグル <sup>①</sup>	OFF=0, ON=127
		CRUSH	ボタン	CC 086	トリガー/トグル <sup>①</sup>	OFF=0, ON=127
		FILTER	ボタン	CC 087	トリガー/トグル <sup>①</sup>	OFF=0, ON=127
	BOOST	ボタン	CC 100	トリガー/トグル	OFF=0, ON=127	
EFFECT KNOB	ツマミ	CC 005	–	0 ~ 127		
MIC	HI	ツマミ	CC 030	–	0 ~ 127	
	LOW	ツマミ	CC 031	–	0 ~ 127	
Fader Start	FADER START CH-2	ボタン	CC 089	トリガー/トグル	OFF=0, ON=127	
	FADER START CH-3	ボタン	CC 090	トリガー/トグル	OFF=0, ON=127	
HEADPHONES	MIXING	ツマミ	CC 027	–	0 ~ 127	
	LEVEL	ツマミ	CC 026	–	0 ~ 127	
	Timing Clock	–	タイミングクロック	–	–	
Fader Start	FADER START CH-2		Note 103	–	BACK CUE=0, PLAY=127	
	FADER START CH-3		Note 104	–	BACK CUE=0, PLAY=127	
MIDI	START	ボタン	スタート	–	–	
	STOP	ボタン	ストップ	–	–	

① あるボタンを ON にすることにより、別のボタンが ON から OFF に切り換わる時、2 つのボタンから MIDI メッセージの ON と OFF をそれぞれ送信します。OFF に切り換わるボタンがないときは、押したボタンから MIDI メッセージの ON だけ送信します。

② あるポジションから別のポジションに切り換わる時、2 つのポジションから MIDI メッセージの ON と OFF をそれぞれ送信します。

• [START/STOP] ボタンを 1 秒以上続けて押し、ボタン、フェーダーまたはツマミの位置に応じた MIDI メッセージを一括で送信します (スナップショット)。MIDI スナップショットは MIDI スタート/MIDI ストップ以外のすべての MIDI メッセージを送信します。

# 設定を変更する

## 1 [SETUP (WAKE UP)] ボタンを 1 秒以上押す

[USER SETUP] 画面が表示されます。

- [CLUB SETUP] 画面を表示するときは、いったん本機の電源をオフし、[SETUP (WAKE UP)] ボタンを押しながら [POWER] ボタンを押します。

## 2 [BEAT ◀, ▶] ボタンを押す

設定項目を選びます。

## 3 [TAP] ボタンを押す

設定項目の設定値変更画面に切り換わります。

## 4 [BEAT ◀, ▶] ボタンを押す

設定値を変更します。

## 5 [TAP] ボタンを押す

設定値を決定します。

元の画面に戻ります。

- 設定値を変更しないまま元の画面に戻るときは [AUTO/TAP] ボタンを押します。

## 6 [SETUP (WAKE UP)] ボタンを押す

[USER SETUP] 画面を閉じます。

- [CLUB SETUP] 画面を閉じるときは、[POWER] ボタンを押して本機の電源をオフにします。

## オートスタンバイ機能について

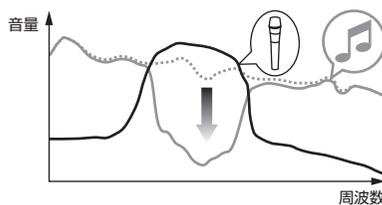
[Auto Standby] を [ON] に設定しているとき、以下の条件をすべて満たしたまま 4 時間を過ぎると自動的にスタンバイ状態になります。

- 本機のボタンやツマミなどを操作していない。
- 本機の入力端子に  $-10$  dB 以上の音声信号が入力されない。
- [SETUP (WAKE UP)] ボタンを押すとスタンバイ状態が解除されず。
- 本機は、オートスタンバイ機能をオンに設定して出荷しています。オートスタンバイ機能をお使いにならないときは、[Auto Standby] を [OFF] に設定してください。

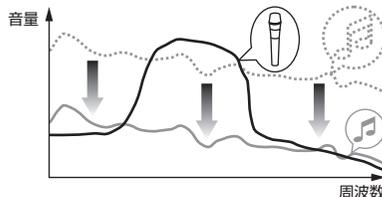
## トークオーバー機能について

トークオーバー機能には、以下 2 つのモードがあります。

- [ADV] (アドバンスド・トークオーバー) : [MIC] チャンネル以外の音声は [Talk Over LEVEL] の設定値に従って、中音域だけ減衰して出力されます。



- [NOR] (ノーマルトークオーバー) : [MIC] チャンネル以外の音声は、[Talk Over LEVEL] の設定値に従って減衰して出力されます。



## 設定項目一覧

\* : お買い上げ時の設定

モード	設定項目	画面表示	設定値	説明
USER SETUP	MIDI CH	MIDI CH	1* ~ 16	MIDI チャンネルを設定します。
	MIDI Button Type	MIDI BT	TGL*、TRG	MIDI 信号の送信の仕方を [TGL (TOGGLE)] または [TRG (TRIGGER)] から選びます。
	Talk Over Mode	TLK MOD	ADV*、NOR	トークオーバー機能のモードを [ADV (ADVANCED)] または [NOR (NORMAL)] から選びます。
	Talk Over LEVEL	TLK LVL	-6 dB、-12 dB、-18 dB*、-24 dB	トークオーバー機能の音声減衰レベルを設定します。
CLUB SETUP	Digital Master Out Level	DOUT LV	-19 dB*、-15 dB、-10 dB、-5 dB	[DIGITAL MASTER OUT] 端子から出力される音声の最大音声レベルを設定します。 <sup>①</sup>
	Digital Master Out Sampling Rate	DOUT FS	48 kHz、96 kHz*	デジタル信号のサンプリングレートを設定します。
	MASTER ATT.	MST ATT	-6 dB、-3 dB、0 dB*	[MASTER1] 端子および [MASTER2] 端子から出力される音声の減衰レベルを設定します。
	Auto Standby	AUTOSTB	ON*、OFF	オートスタンバイ機能をオン / オフします。
	Mic Output To Booth Monitor	MIC BTH	ON*、OFF	[BOOTH] 端子からマイク音声を出力する / 出力しないを設定します。
	Peak Limiter	PKLIMIT	ON*、OFF	マスター出力の急激・不快なデジタルクリップの発生を緩和します。
PC UTILITY	PC UTLY	ON*、OFF	USB ケーブルを接続したとき、コンピュータの設定ユーティリティソフトウェアを自動起動する / 自動起動しないを設定します。	
	Factory Reset	INITIAL	YES、NO*	すべての設定を初期設定値に戻します。

① マスターレベルインジケーターが一番上まで点灯していても、出力音声が届くことがありますのでご注意ください。

# その他

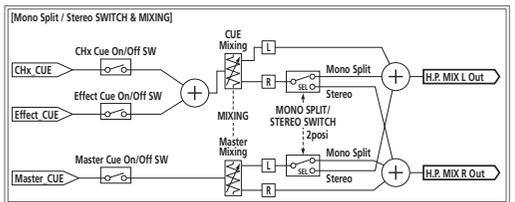
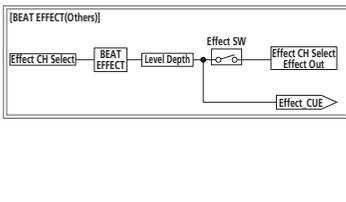
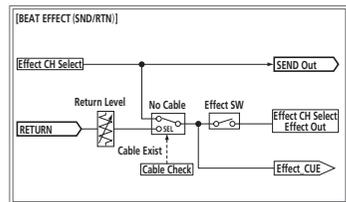
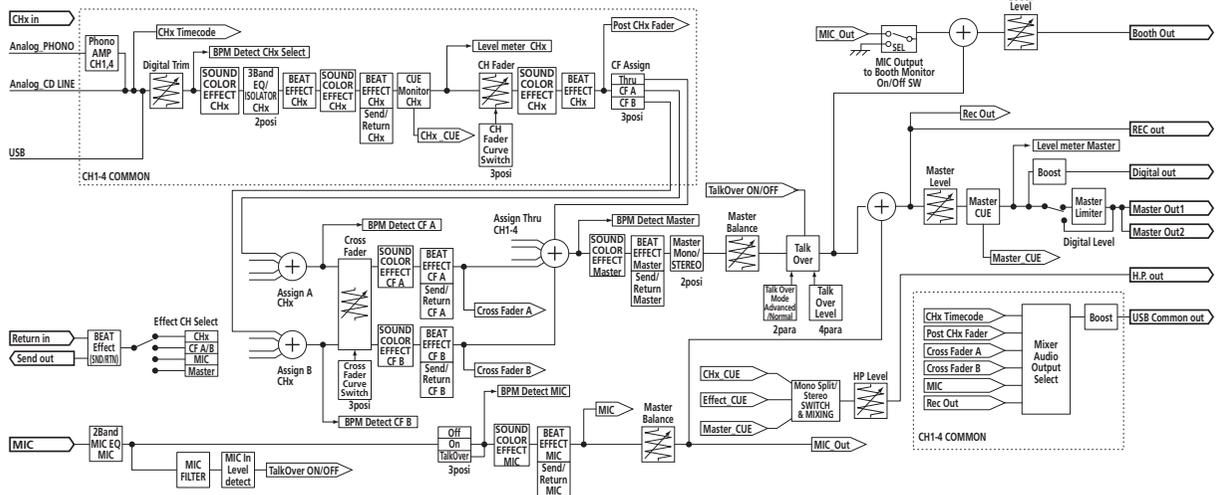
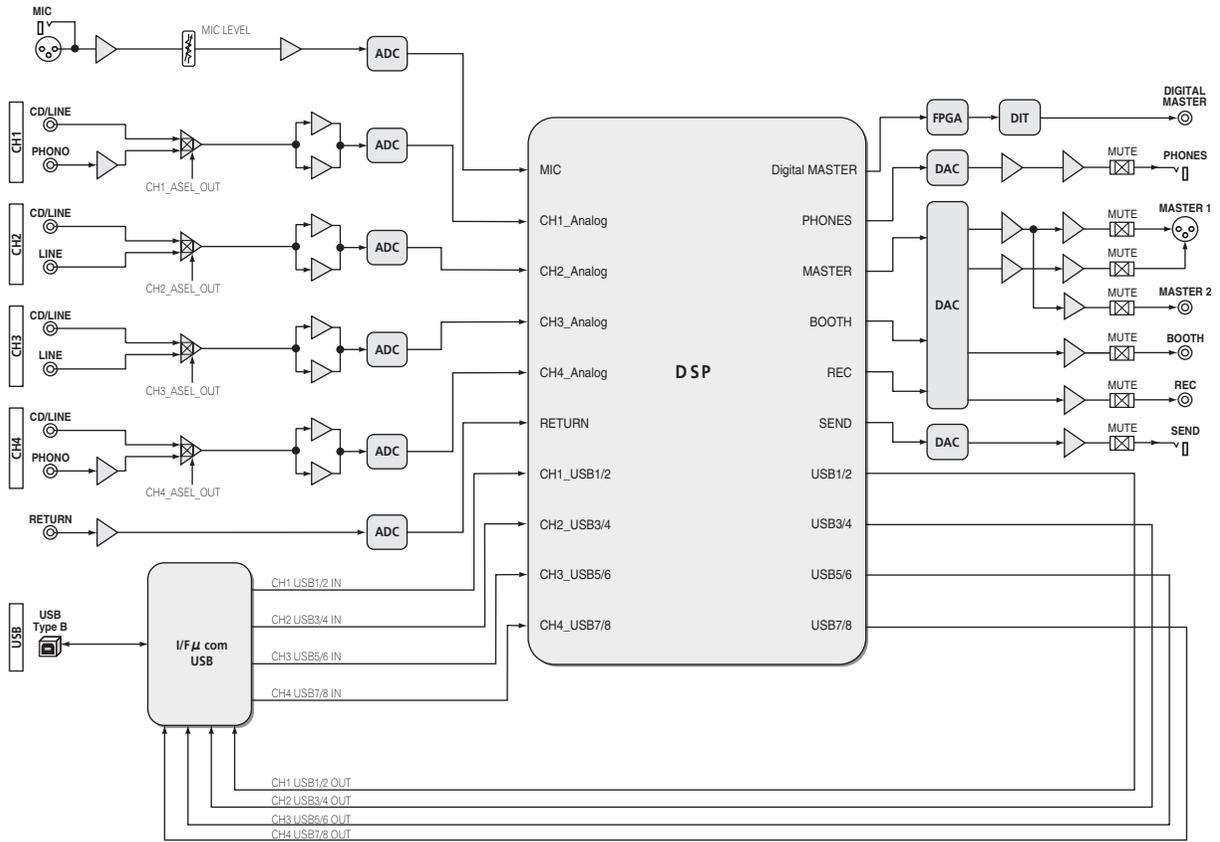
## 故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、「ご使用前に(重要)/クイックスタートガイド」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていますか？	電源コードをコンセントへ接続してください。
音が出ない、または音が小さい。	入力切換スイッチの位置が正しく設定されていますか？	入力切換スイッチを切り換えて、チャンネルの入力ソースを切り換えてください。(12ページ)
	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。(5ページ)
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	[MASTER ATT.] が [-6 dB] などに設定されていませんか？	[CLUB SETUP] 画面で [MASTER ATT.] を切り換えてください。(21ページ)
デジタル音声が出力できない。	デジタル音声出力のサンプリング周波数 (fs) が、接続機器の仕様と合っていますか？	[CLUB SETUP] 画面で [Digital Master Out Sampling Rate] を接続機器の仕様に合わせて設定してください。(21ページ)
音が歪む。	[MASTER] チャンネルから出力されている音声レベルは適切に設定されていますか？	マスターチャンネルレベルインジケータの [0 dB] 付近がピークレベルで点灯するように [MASTER LEVEL] ツマミを調整してください。(12ページ) [MASTER ATT.] を [-3 dB] または [-6 dB] に設定してください。(21ページ)
	各チャンネルに入力されている音声レベルは適切に設定されていますか？	チャンネルレベルインジケータの [0 dB] 付近がピークレベルで点灯するように [TRIM] ツマミを調整してください。(12ページ)
クロスフェードできない。	CROSS FADER ASSIGN (A, THRU, B) 切換スイッチが正しく設定されていますか？	各チャンネルの [CROSS FADER ASSIGN (A, THRU, B)] 切換スイッチを正しく設定してください。(12ページ)
DJ プレーヤーのフェーダースタートができない。	[FADER START (CH-2, CH-3)] ボタンが [OFF] に設定されていませんか？	操作パネルの [FADER START (CH-2, CH-3)] ボタンを [ON] に設定してください。(12ページ)
	[CONTROL] 端子と DJ プレーヤーが正しく接続されていますか？	[CONTROL] 端子と DJ プレーヤーを、コントロールコードを使って正しく接続してください。(5ページ)
	音声ケーブルが正しく接続されていますか？	本機の音声入力端子と DJ プレーヤーの音声出力端子を音声ケーブルで接続してください。(5ページ)
[BEAT EFFECTS] が効かない。	エフェクトチャンネル切換スイッチが正しく設定されていますか？	エフェクトチャンネル切換スイッチを回して、エフェクトを加えたいチャンネルを選んでください。(15ページ)
[SOUND COLOR FX] が効かない。	エフェクトチャンネル切換スイッチが正しく設定されていますか？	エフェクトチャンネル切換スイッチを回して、エフェクトを加えたいチャンネルを選んでください。(15ページ)
	[COLOR] ツマミを適切な位置に設定していますか？	[COLOR] ツマミを左右に回してください。(14ページ)
[BOOST COLOR FX] が効かない。	エフェクトチャンネル切換スイッチが正しく設定されていますか？	エフェクトチャンネル切換スイッチを回して、エフェクトを加えたいチャンネルを選んでください。(15ページ)
	[COLOR] ツマミを適切な位置に設定していますか？	[COLOR] ツマミを左右に回してください。(14ページ)
	[SOUND COLOR FX] の [BOOST] ボタンが [ON] に設定されていますか？	[SOUND COLOR FX] の [BOOST] ボタンを押して [ON] にしてください。(14ページ)
外部エフェクターが効かない。	[BEAT EFFECTS] の [ON/OFF] ボタンが [ON] に設定されていますか？	[BEAT EFFECTS] の [ON/OFF] ボタンを押して [SND/RTN] を [ON] にしてください。(15ページ)
	[SEND] 端子および [RETURN] 端子に外部エフェクターが正しく接続されていますか？	[SEND] 端子および [RETURN] 端子に外部エフェクターを接続してください。(5ページ)
外部エフェクターの音が歪む。	外部エフェクターの音声出力レベルは適切に設定されていますか？	外部エフェクターの音声出力レベルを調整してください。
テンポ (BPM) が測定できない、またはテンポ (BPM) の測定値がおかしい。	音声入力レベルが高すぎませんか？ または音声入力レベルが低すぎませんか？	チャンネルレベルインジケータの [0 dB] 付近がピークレベルで点灯するように [TRIM] ツマミを調整してください。(12ページ) 曲によってはテンポ (BPM) が測定できない場合があります。[TAP] ボタンを使って手動でテンポを入力してください。(15ページ)
測定したテンポ (BPM) の値が CD の記載値と異なる。	-	BPM の測定法が違うため、多少異なった値を示すことがあります。
MIDI シーケンサーが同期しない。	MIDI シーケンサーのシンクモードはスレープに設定されていますか？	MIDI シーケンサーのシンクモードをスレープに設定してください。
MIDI コントロールできない。	お使いの MIDI シーケンサーは MIDI タイミングクロックに対応していますか？	MIDI タイミングクロックに対応していない MIDI シーケンサーは同期できません。
	MIDI がオンになっていますか？	[MIDI] の [ON/OFF] ボタンを押してください。(15ページ)
	MIDI 設定が正しく設定されていますか？	本機で DJ ソフトウェアを操作するときは、本機の MIDI メッセージをお使いの DJ ソフトウェアにアサインする必要があります。アサイン方法については、お使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
コンピュータに接続しても本機が認識されない。	コンピュータにドライバソフトウェアが正しくインストールされていますか？	ドライバソフトウェアをインストールしてください。インストール済みのときは、再度インストールしてください。(6ページ)
コンピュータの音声の本機から出力されない。	本機とコンピュータが正しく接続されていますか？	本機とコンピュータは付属のUSBケーブルで直接接続してください。(6ページ)
	音声出力デバイス設定が正しく設定されていますか？	音声出力デバイス設定で本機を選んでください。お使いのアプリケーションの設定方法については、お使いのアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
	入力切替スイッチの位置が正しく設定されていますか？	入力切替スイッチを <b>[USB */*]</b> の位置に設定してください。(12ページ)
<b>[BEAT EFFECTS]</b> の <b>[CUE]</b> ボタンを押してもエフェクト音がモニターできない。	—	<b>[ECHO]</b> 、 <b>[SPIRAL]</b> 、 <b>[REVERB]</b> 、 <b>[ROLL]</b> 、 <b>[SLIP ROLL]</b> 、 <b>[REV ROLL]</b> および <b>[VINYL BRAKE]</b> は、エフェクトがオフのときはエフェクト音をモニターできません。故障ではありません。
アナログプレーヤーを本機の <b>[PHONO]</b> 端子に接続すると音が歪む。 また、 <b>[TRIM]</b> ツマミを回してもチャンネルレベルインジケータの点灯が変わらない。	フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーを接続していませんか？	フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーは <b>[CD/LINE]</b> 端子または <b>[LINE]</b> 端子に接続してください。(5ページ)
	アナログプレーヤーと本機の間コンピュータ用のオーディオインターフェースが接続されていますか？	フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーに PHONO/LINE 切替スイッチがあるときは、PHONO に切り換えてください。  コンピュータ用のオーディオインターフェースの出力がラインレベルのときは、 <b>[CD/LINE]</b> 端子または <b>[LINE]</b> 端子に接続してください。(5ページ)  アナログプレーヤーに PHONO/LINE 切替スイッチがあるときは、PHONO に切り換えてください。

# ブロックダイアグラム



---

---

## 商標および登録商標について

- Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- Microsoft, Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple, Macintosh, Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

— 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

- ©2013 パイオニア株式会社

禁無断転載

**パイオニア株式会社**

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号

<DRJ1019-A>